

# かわら版

いわしる

集落支援員だより



「気負わず、ゆるく、細く長く…一人一人が楽しんで活動してきたから継続できるのだと思います」

～岩代図書館ボランティアおはなしタンポポ～

約三十年前から幼児や小学生のいる家族を対象に絵本の読み聞かせの活動を行っている「おはなしタンポポ」。代表の菅野壽子さんと娘の裕子さん、事務局の渡辺富士子さんに、会の始まりや軌跡、活動内容についてお話をうかがいました。



▲「おはなし会まつり」にて。図書館で「子ども司書」に認定された小中学生も田沢からお手伝いに参加

## Q 始めたきっかけは？

「おはなしタンポポ」は「読書活動を通じて、子供の豊かな情操の育成に貢献する」という目的のもと、岩代図書館がオープンした平成五年十月に発足しました。



▲会の後、岩代図書館にて親子で読書を楽しむ姿も

## Q 活動内容や継続の秘訣は？

当初から活動は月に一回、約一時間で、内容は導入としてのゲーム、メインのおはなし、「作って遊ぶ」という工作タイムの三部構成。低学年の子供たちを飽きさせないための工夫ですが、親子で夢中になって楽しんでくれるので嬉しいのです。

七月は七夕、十二月はクリスマスにちなみだお話や工作などを行います。また年に一度、「おはなし会まつり」として、近隣の読み聞かせ等の団体と一緒に合同開催しています。

現在、会のメンバーは十二名。三十年近くも続けてこられたのは、

## ★年に1度の合同開催★ 「おはなし会まつり」レポート

去る11月19日（土）岩代図書館にて「おはなし会まつり」が開催されました。「おはなしタンポポ」「人形劇団もこもこ」が楽しいパフォーマンスを披露。市内から合計14名の親子や家族が参加し、楽しい時間となりました。



## Q 今後の抱負は？

ゆるいつながりの中で、各自のペースで活動できる雰囲気があるからだと思います。

絵や文章を書くのが得意なメンバーもいて、岩代の伝説を編集してまとめた『岩代の昔話』という絵本も制作。

本を通して子供とふれあう機会はとて、楽しいので、今後も気負わずに活動を続けたいと思います。



▲助成金を活用し絵本も制作

## おはなし会のお誘い

「おはなしたんぽぽ」では毎月、第3土曜日におはなし会を開催しています。来年3月までの予定を紹介しますので、ご参加ください。

★日時：1月21日(土)・2月18日(土)・3月18日(土) 10時～11時頃 (受付：9時45分)

★場所：岩代図書館／旭住民センター

★内容：パネルシアター等 (読み聞かせ)

★予約制：各10組 (先着順)

★連絡先：岩代図書館 ☎55-3255 (見にゴーゴー)

※旭会場は人数によって、またコロナの状況によって両会場とも開催を見合わせる場合があります。



写真上／羽山のふもとに伝わる「矢代大臣」というお話を読み聞かせ

写真左上／人形劇は「オオカミと3匹のこぶた」。マジックも披露

写真左／おはなし会の後、全員で記念撮影。生後9カ月の赤ちゃん連れのお母さんも参加

# 竹チップで農地の土壌改良に挑戦中！ 上太田字岡田 トマト農家 三浦進一さん

上太田の三浦進一さんは、数年前から竹チップを用いて土壌を改良し、トマト栽培を行っています。昨年までは石川町で購入した竹チップは破砕機を使っていましたが、今年は破砕機を購入し、地元の竹を自分で伐採し、竹チップのたい肥づくりに挑戦しています。

三浦さんの畑を訪れ、その工程を取材させていただき、その工程をくりかえし、たい肥づくりに挑戦しています。



「料理用トマトを栽培していますが、竹チップを用いたトマトは、肉厚で甘くて美味しいです。今後も挑戦を続けていきたいです」

## 安達東高校生にシクラメンの育て方を聞いてみました



▲(写真左から)3年生の菅野さん、吉田さん、佐々木さんが詳しく教えてくれました！

「今年もおかげ様で完売となりました。手入れ次第では来年も花を咲かせますので試してみてください。初心者向けの休眠させない方法(ウエットタイプ)を紹介します」

**POINT①：小さな葉にも注目 葉の1枚1枚に光を当てる！**



▲葉っぱの数だけ花を咲かせます。小さな隠れている葉っぱにも光が当たるよう手でかき分けたり、たまに日に当ててください

「日当たりのよい室内で、水やりは週2回を目安に。枯れた花は根もとから切り取り、葉だけになったら半日陰に移動。夏は風通しのよい涼しい場所で土が乾いたら水をやり、たまに液体肥料をあげてください」

**POINT②：水を与え続ける 水やりは必ず根もとに！**



▶根もとだけにかかるよう水やりをしています！

**工程①**  
竹を切る↓



▲市道にはみ出してきた竹林を選んで伐採。「のこぎり刃を使いますが、コツが要ります」と三浦さん

**工程②**  
←竹を砕く



▼破砕機では色々な大きさの竹チップが作られるが、写真のこのサイズが最小



▲竹を1本ずつ破砕口に入れていくが、かなり力が要る作業。砕かれた竹チップは軽トラの荷台へ

**工程③**  
米ぬか、土壌改良資材等を加える→

「土壌改良資材を加え、一年以上、寝かしておくことで微生物が竹チップに入り込みます。甘くて美味しいと皆さんが喜んでくれるトマトができるのは、まさに竹チップのパワーです」

▶牛糞ともみ殻を混ぜ合わせたものに、米ぬかと土壌改良資材(微生物資材)を加える



**工程④**  
←竹チップを加え混ぜ合わせる



◀最後に竹チップを加え、ショベルカーを使って土全体をかき混ぜることで完成

「放置竹林の伐採は岩代の環境美化活動にもつながります。今後も続けていきたいです」

### 岩代の歴史シリーズ

## 「渡邊閑哉と安積疏水」

岩代小浜の歴史と文化を護る会 顧問 松本 誠一

⑤

政府においては、安積疏水開削のため次の三案が検討された。  
①山瀧案：渡邊閑哉の案  
②不二見嶺案(齊木峠案)：須賀川小林久敬の案  
③三森峠案：中条政恒の案  
④三森峠案：中条政恒の案  
⑤三森峠案：中条政恒の案  
⑥三森峠案：中条政恒の案  
⑦三森峠案：中条政恒の案  
⑧三森峠案：中条政恒の案  
⑨三森峠案：中条政恒の案  
⑩三森峠案：中条政恒の案

明治十一年五月から猪苗代湖の水位測定に始まり、各種測量が実施され、着々と進行。  
十一月一日から六日まで、オランダ人技術者ファン・ドールンの実地調査で、最も工事が容易で工費の安い山瀧ルート(渡邊閑哉の案)が採用された。  
明治十二(一八七九)年十月工事着工。  
明治十五(一八八二)年八月竣工。同十月一日、開成山大神宮で盛大な通水式が挙行されたが、そこに閑哉の姿はなかったのである。